

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 企画展

震えるまなざし

— 撮影者たちが残したことば —

2022年3月1日(火) - 12月29日(木)

惨状を

見つめ

紡いだ

ことば



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

入館
無料

震えるまなざし — 撮影者たちが残したことば —

1945年8月6日、広島に原爆が落とされた時、湧き上がるキノコ雲をカメラに収めた人たちがいました。それが世界で最初に使用された原子爆弾によって起こされたことを知る由もない中、撮影者は眼の前で起きているとてつもない光景に向かって、「カメラを持っていれば、真実としてそういうものを撮りたい」（深田敏夫、当時16歳）と、本能的にシャッターを切ったのです。

軍所属のカメラマン、写真館の店主、新聞社に勤務する中学生等、全く異なる職業や立場の撮影者たちが、目をそらしたくなる気持ちを押し殺しながら、ファインダーに映る被爆後の悲惨な状況をいかにしてフィルムに収めたのか。そしてその体験を、彼らの鋭い描写力でどのようにことばに表したかを明らかにします。



深田 敏夫
(陸軍兵器補給廠勤務)



山田 精三
(中学生・新聞社勤務)



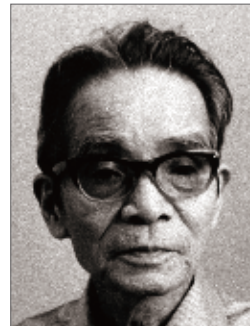
尾木 正己
(呉海軍工廠設計係)



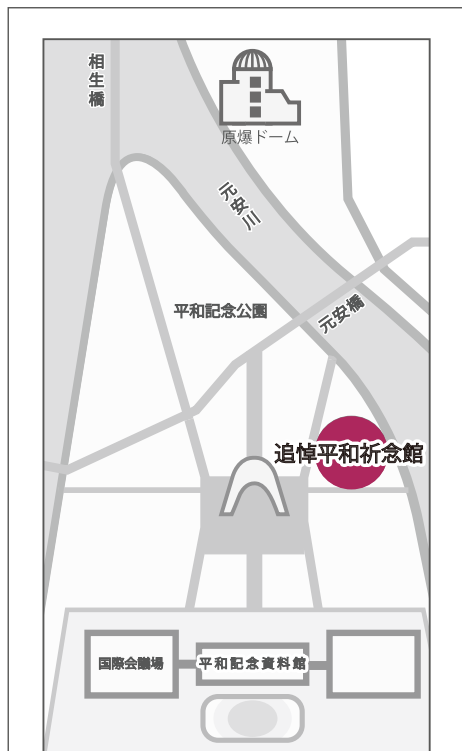
尾糠 政美
(陸軍船舶司令部写真班)



松重 美人
(新聞社写真部員)



岸本 吉太
(写真館店主)
※()内は当時の職業等



広島駅(南口)から約20分
市内電車: 宮島口、江波行き「原爆ドーム前」下車
紙屋町経由広島港行き「本通」下車
バス: 広島バス吉島方面行き「本通り」下車
※ 駐車場はありません



1945年8月6日の御幸橋西詰 (撮影: 松重美人 所蔵: 中国新聞社)

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

TEL: 082-543-6271 FAX: 082-543-6273
ホームページ URL: <https://www.hiro-tsuitokinendan.go.jp/>
〒730-0811 広島市中区中島町1-6

開館時間: 3月-7月: 8:30-18:00
8月: 8:30-19:00 (8/5, 8/6: 8:30-20:00)
9月-11月: 8:30-18:00、12月-2月: 8:30-17:00
休館日 12月30日、31日

